



「挑む」「見る」「楽しむ」

市民に感動と活力を!

世界最大のスポーツイベント、W杯サッカーが開催された。

磨き抜かれた華麗なプレーに世界が感動と興奮で渦巻き、正に人類共通のスポーツ文化を通じて世界が一つになれたことを実感した。そして四年前を思い出す。スポーツ後進県新潟は、W

杯大会を契機に二つのプロス

ポーツチームと日本一のサボー

ターチームを県民の力で誕生させ

た。県民のスポーツ文化への目

覚めであり、ニュー新潟への胎

動である。そして今、その追い

風を受け県民総参加の二巡目国

体に、その成功と真のスポーツ

文化の定着が期待されるところ

である。

わが柏崎は?五月の潮風マラソンでは市民ボランティアや地域コミュニティの協力で市民の手で大イベントを成功させた。

市民が支えた市民マラソン競技大会として国体柏崎大会に大きな弾みを感じる。しかし現状は、県内の施設や地域クラブなどスポーツ環境の整備による競技力の向上は著しく、競技スポーツ面での実績は厳しい状況に置かれている。

こうした中で市民の総合体育団体である体育協会は、国体の

成功と共に「強い柏崎の復活」

「市民スポーツ文化の定着」を目ざし、行政から事務局を独立し、課題の整備と対策事業の推進に努める。

○学校、地域、競技団体の実態把握と連係、一貫指導体制の確立

○学校部活支援と地域クラブの育成、指導者確保と体制づくり

○出前スポーツ教室等地域のスポーツ振興、少子化対策事業推進

○ジュニア選手育成・強化事業への補助・支援体制の充実

○出前スポーツ教室等地域のス

ポーツ振興、少子化対策事業

○スポーツ医科学による合理的、効率的指導力の向上

社会の進展と共に市民スポーツの多様化、高度化は一層進む。

W杯や国体を、それに応える市民共有のスポーツ文化創造へのステップとしたい。柏崎の子ども達が憧れと夢を、市民が親しみと感動を求めて競技場に集まつてくる、市民生活に密着したスポーツ振興が夢!。市民生活の糧となる文化の一つとして誰もが享受できるよう、開かれた市民スポーツ協会への挑戦である。

(事務局長 近藤康信)

平成18年度 柏崎市体育協会施策

基本方針

- ◎新生柏崎市体育協会の発足にあたり、市民総合体育団体としての使命の認識と現状課題の把握に努めるとともに、「事務局」を新設、「組織」「事業」「財務」等、協会の自主運営「自立」により、その責務遂行にあたる。
- ◎2巡目「トキめき新潟国体の成功を期した選手強化と市民の健康スポーツの振興を目指し、生涯学習・体育課、観光レクリエーション振興公社とのコミュニケーション並びに市内スポーツ団体との連携を密にし、「高く、強く、健やかに、スポーツ文化を継承し 創造する」体育団体として、新柏崎市建設に貢献する。

総務部の概要と 今後の予定について

総務部長 杣渕広市

創立八十余年の歴史ある柏崎市体育団が、本年一月一日をもつて柏崎市体育協会と名称を変え、会長の言葉ではありませんが、改称元年となりました。

これに伴い、体協でも組織の改革、事務局体制の強化と大きく変貌しつつある中で、総務部は次の分野を担当することとしています。

- ・会議及び施策に関すること。
- ・市及び各部会との調整のこと。
- ・その他専門部に属さないこと。
- ・以上三点ですが、一番大きな課題は、「法人化」に向けての研究取り組みではないかと自覚しています。

法人化は、大事なことであると認識はしているつもりですが、果して市体育協会が今現在、法人化が必要であるのかを含め、先進地でもある東村山市体協を始め、他団体の活動、現状等について腰をすえ研究していくたいと考えているところです。

財務部会の 活動について

財務部長 小林久幸



夢膨らむ 新生柏崎体協

普及振興部長 遠藤元男

体育団から体育協会へと名稱、組織機構等が一新された柏崎市体育協会。名称だけではなく、事務局の設置、専任職員の配置、事業内容再編、プロジェクトチーム立ち上げ、加盟団体連絡機関紙「虹」の発行等々、まさに本協会大改革元年の幕開けともいえる新年度のスタート。

ところで、当部にも新組織として社会の動向に適合した事業の展開が求められています。果して、新生団体として何ができるのか、何をせねばならないのか、苦渋するところですが、それだけにまた夢も膨らむ思いで

三年後に迫った「トキめき国体」開催を契機に、強化部では、「つよい柏崎」の復活を目指し、競技力向上策について協議を行った。

強化部会報告

選手強化部長 後藤典任

1、各競技団体の強化策の現状と課題把握と分析（アンケート実施）
2、選手強化策の集約とそこから生ずる、指導者、強化費、練習所確保等の検討
3、ジュニア強化の視点からラブの参加実態と実施上の課題

4、学校・地域スポーツクラブ・各競技協会等の連携
5、各競技団体の強化策の見直し
6、一流指導者による研修・講習会の実施及び合同合宿の実施

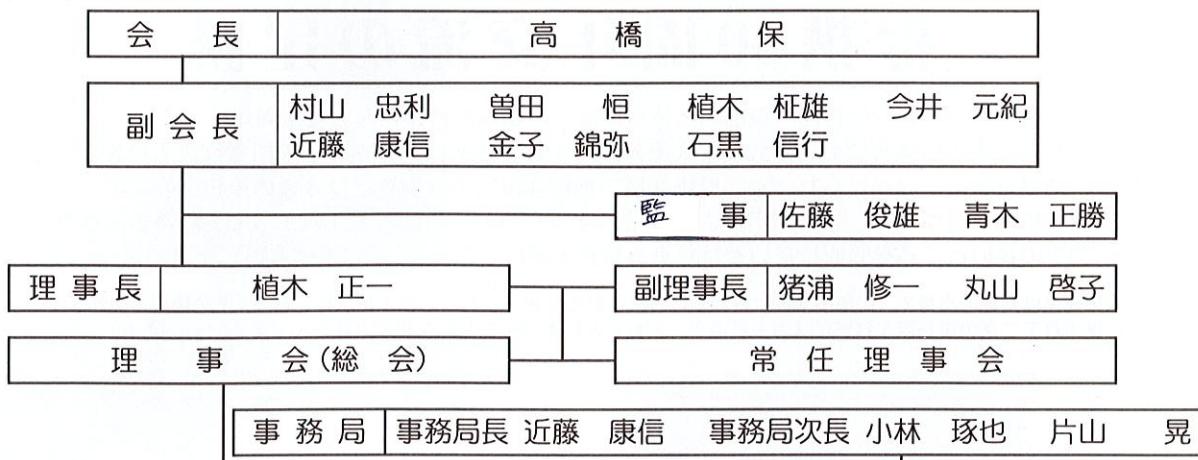
係機関や団体・学校・幼稚園・こどもセンター等市民各位のより一層のご支援・ご協力を切にお願いする次第です。

今年から市町村合併により高柳町体育協会、西山体育協会が仲間に加わりました。柏崎市民のスポーツ振興のため、体育協会の活動にご賛同いただける企業及び個人の方は、ぜひ賛助会員へのご加入をお願いします。

また、二巡目国体を控え、競技の円滑な運営だけでなく、この大会を通して「柏崎市の文化の振興」や「市民の豊かな心の育成」寄与のためにどんな「教育運動」を展開したらよいのかも大きな課題となります。加盟団体はいうに及ばず、行政・関

協議では、組織、計画、指導者、資金、場所、部員の六要素の充実が、選手強化では不可欠であることを確認し、今後の活動を推進することとした。

柏崎市体育協会組織図



理事		○印、常任理事
○後藤 典仁	学識	
○遠藤 元男	"	
○片山 晃	"	
○多田 厚子	"	
○赤沢 一由	"	
○酒井 明	"	
○花卉 審雄	陸上競技協会	
○杵淵 広市	野球連盟	
○横田 喜義	バスケットボール協会	
○小網 悅男	ソフトテニス連盟	
○大矢 富	バレーボール協会	
○山川 博行	ハンドボール協会	
○藤井 邦夫	卓球連盟	
○中村 千秋	テニス協会	
○山田 茂仁	水泳連盟	
○田村 矢口	バドミントン協会	
○植木 義雄	サッカー協会	
○多田 利行	米峰スキー連盟	
○和人 猪俣	ラグビー協会	
○角山 二郎	相撲協会	
○池嶋 甲二	剣道連盟	
○小林 久幸	柔道連盟	
○中静 萩原	弓道連盟	
○池田 民樹	なぎなた協会	
○布施 伸一	空手道連盟	
○高橋 弘隆	少林寺拳法協会	
○廣川 和久	合気道柏崎道場	
○猪浦 修一	ヨット連盟	
○田中 文雄	サーフボード連盟	
○元井 春夫	綱引き連盟	
○下條 信夫	ワンバウンドバレーボール協会	
○丸山 啓子	柏崎刈羽太極拳協会	
○小山 義雄	坂田体育研究所	
○霜田 正仁	地区体育協会連絡協議会	
○桑原 浩史	柏崎刈羽小学校体育連盟	
○市川 茂明	柏崎刈羽中学校体育連盟	
○四月朔日良秀	新潟産業大学	
○三宮 勇雄	柏崎刈羽ゴルフ協会	
○大宮 桂一	少年硬式野球連盟	
○池谷 薫	ライフセービングクラブ	
○黒金 笠間	新潟県ボーリング連盟柏崎支部	
○笠間 律子	柏崎水上競技連盟	
○秀隆		

加盟団体	
陸上競技協会	なぎなた協会
野球連盟	空手道連盟
バスケットボール協会	少林寺拳法協会
ソフトテニス連盟	合気道柏崎道場
バレーボール協会	ヨット連盟
ハンドボール協会	サーフボード連盟
卓球連盟	綱引き連盟
テニス協会	ワンバウンドバレーボール協会
水泳連盟	柏崎・刈羽太極拳協会
バドミントン協会	坂田体育研究所
山岳会	地区体育協会連絡協議会
サッカー協会	柏崎・刈羽小学校体育連盟
米峰スキー連盟	柏崎・刈羽中学校体育連盟
ラグビー協会	新潟産業大学
相撲協会	柏崎刈羽ゴルフ協会
剣道連盟	少年硬式野球連盟
柔道連盟	ライフセービングクラブ
弓道連盟	新潟県ボーリング連盟柏崎支部
	柏崎水上競技連盟

体育協会専門部会								
総務部								
●顧問 今井 元紀	◎部長 柿淵 広市	●理事 酒井 明	【業務内容】 ・会議及び施策に関する事項 ・市及び各部会との調整 ・その他、専門部に属さない事柄				●事務局 近藤 康信 小林 琢也 宮下真知子 (里村信一) (高野 鞘)	
石黒 信行	○副部長 四月朔日良秀							
財務部								
●顧問 村山 忠利	●理事 多田 三宮	●理事 利行 黒金	●理事 猪俣 和人	【業務内容】 ・協会財務に関する事項 ・賛助会員募集と徴収 ・スポーツ基金募金、特別活動金の調達、運営管理 ・財源確保				
○部長 小林 久幸	○副部長 矢口 中静	○部長 勇雄 義雄	○部長 黒金 猪俣	○副部長 春夫 小山	○副部長 義雄 和人	○副部長 春夫 小山	●事務局 片山 晃 遠藤 正人 松谷 敦子 月橋 直子 北村 祐樹 (樺田智仁)	
選手強化部								
●顧問 金子 錦弥	●理事 山田 大矢	●理事 茂 富	●理事 池嶋 大橋	●理事 甲二 邦夫	●理事 池谷 耕一	●理事 市川 薫	【業務内容】 ・北陸バスケットボール運営 ・選手強化費配分、ジュニア育成 ・指導者講習会 ・優秀選手表彰に関する事項 ・スポーツ教室に関する事項	
○部長 後藤 典任	○副部長 横田 嘉義	○副部長 横田 嘉義	○副部長 小網 邦夫	○副部長 田村 悅男	○副部長 田村 悅男	○副部長 田村 悅男	●事務局 近藤 康信 中山 徹 仙海 晋 吉野 公浩 佐竹 行彦 千原 龍一 (高野 鞘) (樺勇一郎)	
普及専門部								
●顧問 鶴田 恒	●理事 下條 千秋	●理事 信夫 田中	●理事 多田 桐原	●理事 厚子 高橋	●理事 山田 祥一	【業務内容】 ・市民スポーツ普及、振興に関する事項 ・国際スポーツ交流 ・交流に関する事項 ・新春体育懇親会 ・スポーツ少年団に関する事項 ・スポーツ医学に関する事項 ・機関紙「柏崎体育」の編集、発行 ・ホームページ運営管理		
○部長 遠藤 元男	○副部長 中村 広川	○副部長 千秋 和久	○副部長 池田 文雄	○副部長 桐原 弘隆	○副部長 神原 正仁	●事務局 片山 晃 吉川 成行 渡辺 匠 今井 礼子 西村 美代子 (星 賢一) (兒島朋美)		

宮下真知子

「小さく生んで、大きくなれよ」から

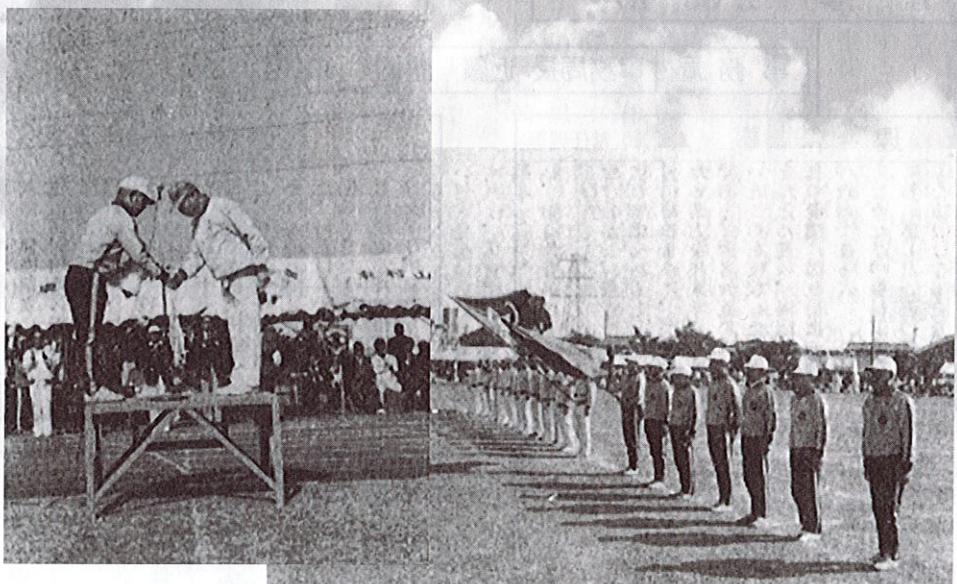
柏崎市・東村山市両市体育協会

提携30周年交流の足跡

東村山市体育協会と柏崎体育団(現柏崎市体育協会)が姉妹提携を結んで三十周年。

この発端は東村山体育協会名誉会長・太田芳郎先生が夏にテニスの指導で来柏され、懇談会の席上で今井副団長、岡島理事に呼びかけられ、長い歴史を持つ柏崎体育団の精神を学び今後の東村山のスポーツ振興に役立てたい。柏崎体育団では、東村山市のように若いはつらつとした活力を注入する必要がある。など、両者お互いに相手の良いところを吸収したいと話が進み提携の運びとなった。(柏崎体育第八十九号より)

*太田先生は刈羽の出身で、比角小学校で教鞭もとられ校歌の作曲もされ今も歌え継がれており、その後高等師範(現筑波大)に進まれテニスの腕を磨かれデビスカップ選手、同監督と日本のテニス界を代表された人である。



予定された10月10日は、あいにくの雨で11日に東村山市民大運動会の会場で盛大に両市の体育団の提携が結ばれた。写真は堅い握手を交わす両代表と団旗を中心に勢ぞろいした代表団。

東村山との交流

柏崎市体育協会

理事長 植木正一

今年で三十年を数える東村山市体育協会との交流も現在ではスポーツだけには限らず様々な交流が為される様になってきています。

三十年前には同規模の人口でのスタートだったと聞かされていますが東京と柏崎の環境等を考えると今の人口差はしようの無いものかと思われます。この三十年の間に柏崎では各種のスポーツ施設が整備され環境には恵まれましたが成績の向上には直接結びついていない様に思われます。私も何回か訪東させておりましたたが東村山関係者のスポーツに対する熱い心意気にはまだまだ及ばないことを自覚しております。これからもお互いの良い所は積極的に取り入れ改善すべきは速やかに改善をしております。これからもお互いの良い所は積極的に取り入れ改善すべきは速やかに改善をしております。これからもお互いの良い所は積極的に取り入れ改めることができるよう頑張ることが両体育協会のさらなる飛躍となることと思われます。

行つたりきたりの三十年

「おい、武谷、柏崎市とテニスで交流せんか」。え、またなん

東村山市テニス連盟
理事長 武谷直也

で? 「東村山市体育協会と柏崎市体育団が去年、姉妹関係を結んだんで、ええ機会やないか」とのこんなやり取りの中で、姉妹関係の仲人の故太田氏に相談した結果、「それはいいことだ。優勝杯と、負けた方には敢闘賞を授与して励みにして欲しい」とおっしゃって、体育協会と体育団の初めての交流戦を始めてから、行つたりきたりして三十年になる。

初回の交流戦は、柏崎市を当市に招いて行つた。一九七七年十一月のことであつた。初めの十年間は、交流したい者による勝負を気にしない対抗戦方式の交流であったが、次の十年間は、双方の強力メンバーによる交流正しく対抗戦方式で勝負を競つてきた。しかし、毎年殆ど限られた少数のメンバーによる交流となることから、二十一回目からは、正式の交流は隔年とし、合間の年は、双方のテニス愛好者の交流の輪をもつと広めることを期待して、お互いのクラブ同士の自主交流を行なうこと改めた。

このように、交流のやり方はほぼ十年単位で変つたとはい、初めの十年間の双方の市庁舎の表敬訪問や観光スポーツの見学を除けば、初日の夜の懇親会、最終日のお別れパーティー



相崎市との第一回交流会は、まだ柏崎・刈羽ゴルフ協会が発足する前の平成六年七月、両市の有志が集い「ぎおん祭」を見物、翌日柏崎カントリークラブに於てのゴルフコンペでした。

平成十年柏崎・刈羽ゴルフ協会が発足、平成十一年七月から毎年一回の交流会を実施すること

となり、「ぎおん祭」から始つた交流

東村山市ゴルフ連盟
事務局長

は、交流の番外編として、今日も続いている。
「小さく生んで、大きく育てよ」。太田氏の口癖であった。
さてさて、どこまで大きくなつたかは定かではないが、これらも未永く成長し続けることは確かである。

となり、第二回は柏崎市、第三回は東村山市と交互に一泊しての交流会を行つて来ましたが、時間、費用等を勘案し、幸い柏崎市でのプレーコース「石地シーサイドカントリークラブ」であります。

姉妹コースが群馬県伊香保カン

トリーカラーブの「岡崎城コース」

であることから第五回から、当日集合、交流ゴルフコンペを行つております。平成十八年度は東村山市がホストを努め、交流会を盛り上げる企画を致して

弓道交流のあゆみ

東村山市弓道連盟
会長 富澤 明

両市体育協会交流三十周年おめでとうございます。

スポーツ交流に始まつた両市の結びつきが、今や産業や議員交流など大きく広がつていてことに我々体育関係者も大変力づけられます。

武道関係の中で、弓道は交流が長く続いているほうかと思ひます。

と言いましても、四年置きに行き来していますのでそんなに回数を実施しているわけではありません。昨年の十月に柏崎弓道連盟の皆さん二十名余が東村山にお見えいただき二日間にわ



たり腕を競うと共に楽しい懇親の機会を得ました。あらためて感謝申し上げます。東村山に来ていただいても、特別の観光名所があるわけでもありませんし、これといった郷土料理もない所ですので大変心苦しいのですが、お互いの弓道談義が何よりのご馳走というわけです。

東村山弓連が柏崎にお伺いし

た時は、めつたに行けない原發を見学させていただきました

いことが気がかりですが、取りあえずは三年後に又お伺いして弓道親交が出来ることを楽しみにしております。

今年はお迎えの年

柏崎市ソフトテニス連盟
会長 大谷 昂

今年はお迎えの年

楽しい思い出の一つです。

最近交流競技がチョットと少ないことが気がかりですが、取りあえずは三年後に又お伺いして弓道親交が出来ることを楽しみにしております。



熱戦を展開しています。
また、初日の夜は盛大な懇親会を開催し、更に親睦を深め、夜の更けるのも忘れ、テニス談義に興じ、交流の輪を広げています。
この交流大会には、両市の教育委員会、体育協会関係者、東村山市ソフトテニス連盟のご協力を頂いていますことをこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。今後両市のソフトテニス連盟の更なる発展をすることを祈念申し上げます。



全国大会への抱負

●柏崎高校 男子ハンドボール部
監督 椿原雅史

平成十八年五月三十一日、昨年に続き今年も県総体優勝の瞬間が訪れ、生徒と共に歓喜の輪を作ることが出来ました。これも偏に、生徒を預け熱心に応援して下さった保護者の皆様、我が子が卒業しても変わらぬ応援をして下さる卒業生の保護者の皆様、毎週のように練習相手をして下さいました地元柏崎の社会人チーム「柏崎クラブ」の皆さん、平日開催の大会にも関わらず会場まで応援に来てくれたOBの皆さん、いつでも快く合宿・練習試合を引き受けた下さいました全国の諸先生方、その他多くの方々の支えがあつてのものと深く感謝しております。

振り返ると昨年のチームが柏崎高校として十四年ぶり十回目となるインターハイ出場を決め、現チームは発足時からの目標として、「昨年を超える」を合言葉に活動してきました。しかし新人大会、春季大会と二大会連続で県準優勝という歴史的結果でしたが、県総体では今までの経験を生かすと共に、大会でのチーム目標として「積極



的に思い切りやること」「今までの練習量・質を信じること」を同じ土俵に立つことが出来ました。しかし一つ結果が出たことで満足することなく、私自身を見事優勝、やつと昨年のチームと同じ土俵に立つことが出来ました。

した。しかし一つ結果が出たことで満足することなく、私自身をはじめ生徒一人一人が個々の人間性・チーム全体のまとまりとう点で、本来の目標である「昨年を超える」を達成出来るよう、よりいっそう気を引き締め日々取組んでいきたいと考えております。

この「柏崎体育」が発行される頃にはインターハイでの結果も出ていると思いますが、その時には、「柏崎高校のハンドボール部は頑張っているんだ

と、少しでも思つて頂けるよう、開催地である大阪でチーム一丸となり、「積極的に、思い切り、全ての面で昨年を超えた」と、少しだけ思つて頂けるよう、最後に、柏崎のハンドボール部は頑張っているんだ



山岸健弥と選手が揃つていたのですが、今年は一・二年生を中心のチームなので大会前から不安でした。上越地区予選会では、糸魚川白嶺高校に二ー三で敗れ、地区大会二位での予選通過でした。

●柏崎常盤高校 なぎなた部
主将 近藤敦子

私は柏崎常盤高校なぎなた部は、今まで二年間団体戦でのインターハイ出場をのがしていましたので、今年こそは必ずみんなで行くという気持ちで県大会に臨みました。

当日は一人一人がとても緊張している様子でした。特に演技は最初の競技ということで、少し硬くなってしまった部分も見られましたが、二組同時にやうに集中し、今まで練習してきたことを各ペアがしつかり出し切れたと思います。そしてインターハイ出場枠の一、二位を常盤のペアが占めることができました。

道具(試合競技)は演技とは違ひ、まず自分との戦いなどで、自分の技を信じ、思い切り試合をしました。相手の気迫を上回る技を出し、決勝リーグには、常盤から多くの選手が勝ち進みました。そのうちの七人が

インターハイでは、一勝でも多く勝てるよう、またたくさん応援してくれている方々の期待を胸に頑張ってきたいと思っています。



う点で、本来の目標である「昨年を超える」を達成出来るよう、よりいっそう気を引き締め日々取組んでいきたいと考えております。

この「柏崎体育」が発行される頃にはインターハイでの結果も出ていると思いますが、その時には、「柏崎高校のハンド

球部は頑張っているんだ

と、少しでも思つて頂けるよう、開催地である大阪でチーム一丸となり、「積極的に、思い切り、全ての面で昨年を超えた」と、少しだけ思つて頂けるよう、最後に、柏崎のハンドボール部は頑張っているんだ

と、少しでも思つて頂けるよう、開催地である大阪でチーム一丸となり、「積極的に、思い切り、全ての面で昨年を超えた」と、少しだけ思つて頂けるよう、最後に、柏崎のハンドボール部は頑張っているんだ

と、少しでも思つて頂けるよう、開催地である大阪でチーム一丸となり、「積極的に、思い切り、全ての面で昨年を超えた」と、少しだけ思つて頂けるよう、最後に、柏崎のハンドボール部は頑張っているんだ

と、少しでも思つて頂けるよう、開催地である大阪でチーム一丸となり、「積極的に、思い切り、全ての面で昨年を超えた」と、少しだけ思つて頂けるよう、最後に、柏崎のハンドボール部は頑張っているんだ

●産業大学附属高校 卓球部
監督 大柿友彦





七月一日心配された雨もお祓いが効を奏し終了間際迄降らずに終了出来た。百七十名を超える参加者の中には地区体協、協会加盟、ゴルフ協会、職場等の多くのグループから協力を得た。

事前準備、当日運営等ゴルフ

協会事務局、黒姫カントリーの

皆様に深謝し、来年につなげた

が効を奏し終了間際迄降らずに終了出来た。百七十名を超える参加者の中には地区体協、協会加盟、ゴルフ協会、職場等の多くのグループから協力を得た。

五月下旬に行われました信越連盟春季大会で創部初となる準優勝を收めることができました。

決勝戦は、大会史上初となる延長十四回を戦い抜きましたが、残念ながら勝利の女神は微笑んでくれませんでした。人生の中で延長十四回を戦うということは、やろうと思つてもなかなかできることではありません。最後まで諦めず、グラウンド・ベンチ・スタンドが一体となり戦う姿は、どのチームにも負けないものがありました。今大会は、接戦の中で粘り強い攻

活動の跡



守のプレーが目立ち、試合を重ねるごとにチームが成長していったように思います。今回の成績の裏には、個々の日々の努力もありますが、昨夏から数々の県外遠征を経験し、アウェイゲームに慣れていることも一つの要因であると考えています。

今後の大会も、今年のチームスローガン「一球勝負」のもと、一球へ懸ける思いを強く持ち、一生懸命頑張っていきたいと思います。

新たな出発

柏崎水上競技連盟
会長 金子錦弥

平成十八年四月一日、今迄のフィギュア、カーリング、ショートトラック、アイスホッケーの四つの団体が一绪になり、新しく柏崎水上競技連盟として体育協会に加入了しました。限られた期間十一月上旬~二月という短い中でリンクを有効に利用する為に、四団体が協力し合つてゆこうという事で誕生いました。リンクの出来た平成五年から個々に活動していたものの、横のつながりはなく練習もまちまちでした。而して二巡目国体が三年後に迫り、国体の強化選手も決まり、又、ショートトラックでは大沼君が國体に参加するという快挙もあり、二月二日に第一回の会議を



8·8	7·21	7·18	7·3	6·28	5·30	5·29	5·26	5·24	4·27	4·13
サッカー交流に來柏 議(アクアパーク)	財務部会(ユー新橋)	理事長・体育課との打 合せ(アクアパーク)	「虹」二号発行	北陸バスケット大会打 合せ(総合体育館)	「ゴルフ大会」黒姫カ ントリー	第二回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第一回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第三回常任理事会(市 民プラザ)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)
半田少 東村山市訪問	東村山市中学生	理事長・体育課との打 合せ(アクアパーク)	「虹」二号発行	北陸バスケット大会打 合せ(総合体育館)	「ゴルフ大会」黒姫カ ントリー	第二回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第一回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第三回常任理事会(市 民プラザ)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)
サッカー交流に來柏 議(アクアパーク)	財務部会(ユー新橋)	理事長・体育課との打 合せ(アクアパーク)	「虹」二号発行	北陸バスケット大会打 合せ(総合体育館)	「ゴルフ大会」黒姫カ ントリー	第二回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第一回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第三回常任理事会(市 民プラザ)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)
サッカー交流に來柏 議(アクアパーク)	財務部会(ユー新橋)	理事長・体育課との打 合せ(アクアパーク)	「虹」二号発行	北陸バスケット大会打 合せ(総合体育館)	「ゴルフ大会」黒姫カ ントリー	第二回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第一回プロジェクト会 議(アクアパーク)	第三回常任理事会(市 民プラザ)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)	18年度理事会・会長会 (ベルナール)



広げようスポーツの輪

柏崎市体育協会 賛助会員に加盟を!

18年度、柏崎市体育協会の加盟団体は38団体で、事務局も自立して活動を展開しています。この柏崎市体育協会の財源は、加盟団体分担金、市補助金、そして賛助会員の皆様の会費で運営されています。

2巡目国体も控え地元を盛り上げるために、地元から強いチーム、強い選手を出すことが柏崎市のさらなるスポーツ振興につながると思います。

市民の皆様の力をもっともっとお借りして柏崎市体育協会の活動をより充実させていきたいと思っております。ご賛同いただける企業団体・個人の方からの加入をお待ちしております。



● お申し込み・お問い合わせ先 ●

**柏崎市体育協会
事務局**

〒945-0065 柏崎市学校町6-73
新潟県立柏崎アクリアパーク内
電話0257-22-5597・FAX0257-22-0766